

図書館だより

〒519-0505 伊勢市小俣町本町2番地

電話 0596-29-3900 FAX 0596-29-3902

ホームページ <https://iselib.city.ise.mie.jp>

X(旧 Twitter) @ObataKosodate (全て半角英字)



ベリーくん



いちごちゃん

小俣図書館 図書館行事 ごあんない**●ピッポの会・紙芝居**9月20日(日) 午前11時～ <2階・会議室>
(定員) 20人程度(当日先着順)**●図書館おはなし会&工作**9月26日(土) 午後3時～ <2階・会議室>
おはなしの後、折り紙で「三色だんご」を作ります。
(対象) 3歳～小学生(就学前の子どもは保護者同伴)
(定員) 20人程度(当日先着順)**●上映会**9月19日(土) 午後3時～ <2階・視聴覚室>
「梅切らぬバカ」《77分》(出演) 加賀まりこ、塚地武雅 ほか
(定員) 20人程度(当日先着順)**●赤ちゃんといっしょ!ブックスタートおはなし会**9月23日(水・祝) 午前11時～ <2階・会議室>
ブックスタートパック絵本の中から、親子で楽しめる絵本の読み聞かせをします。

※当日、母子健康手帳を持参したブックスタート未実施の人には、カウンターでブックスタートパックをお渡しします。(配布対象: 市内在住で子どもがいる家庭)

※ブックスタートとは、絵本を通して赤ちゃんに保護者に心豊かな時間を過ごしてもらうために、赤ちゃん一人一人に絵本を手渡す活動です。

(対象) 妊婦および、2歳以下の子どもとその保護者
(定員) 10組程度(当日先着順)**●第17回伊勢市立図書館読書感想画展 2026**9月19日(土)～10月4日(日) <2階・ギャラリー>
夏休みに募集した読書感想画を展示します。

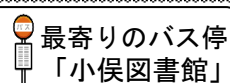
開館時間 午前9時～午後7時

休館日 毎週火曜日、第2金曜日

年末年始、特別整理期間

貸出 1人10冊2週間以内(うち雑誌は5冊まで)

1団体50冊1か月以内(うち雑誌は25冊まで)

最寄りのバス停
「小俣図書館」

9月

小俣図書館カレンダー

10月



日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5					1	2	3
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24
27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31

※「★」の行事は、申し込みが必要です。

※行事詳細は小俣図書館のポスター・チラシをご覧ください。

※諸般の事情により、行事が延期または中止になる場合がございます。

ご了承ください。

●小俣図書館 古本のリサイクルフェア

10月3日(土) 第①部 午前9時10分～12時

第②部 午後1時～午後4時

10月4日(日) 第③部 午前9時30分～午後3時

<2階・ホール>

保存年限をすぎた雑誌・廃棄図書をリサイクルします。

※第①部は、午前9時から小俣図書館玄関前で、1人につき整理券を1枚配布します。入場は1人1回、冊数は10冊以内です。※第②③部は、整理券の事前配布はなく、入場・冊数とも制限はありません。

**小俣図書館休館のお知らせ****9月9日(水)～9月18日(金)は
特別整理期間のため休館となります。**

ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い申し上げます。

※ブックポストは通常通りご利用いただけます。

伊勢市立伊勢図書館 図書館だより



No.295

令和8年(2026年)9月1日発行
(編集・発行) 伊勢市立伊勢図書館
指定管理者/株式会社図書館流通センター
(住所) 〒516-0076 伊勢市八日市場町13-35
(電話) 0596-21-0077 (FAX) 0596-21-0078
(ホームページ) <https://iselib.city.ise.mie.jp>
一般・X(旧twitter) @toshokan_iselib
子育て・X(旧twitter) @isetoshokan
YA・X(旧twitter) @IselibYa



「おはなし会」

《日時》 毎週 土曜日 午後2時30分～

《場所》 1階・おはなしコーナー

えほんの
よみかせ
かみしばい
など

9月5日/おにいさん、おねえさん による おはなし会

9月12日・19日・26日

／おはなしプーさん による おはなし会



「あかちゃんえほんのじかん」

「あかちゃんえほんのじかん」は、毎月第4木曜日です！

《日時》 9月24日(木) 午前11時～

《場所》 2階・視聴覚室

《内容》 あかちゃんむけの絵本の紹介や、

手あそびなどをします♪



「上映会」

《日時》 9月13日(日) 午後2時～

(開場は午後1時45分)

《場所》 2階・視聴覚室

《定員》 40人(当日先着順)



「最高の人生のつくり方」

〈上映時間 94分〉

《監督》 ロブ・ライナー

《出演》 マイケル・ダグラス、ダイアン・キートン他



岡野裕行氏講演会

「まちの言葉はどのように 残されていくのか」

—『文学散歩の研究』の
執筆をとおして考えたこと—

《日時》 10月3日(土) 午後2時～3時30分

《講師》 岡野裕行氏(皇學館大学文学部国文学科教授・
図書館司書課程担当)

《内容》 著作『文学散歩の研究』出版の経緯や、執筆の
ウラ話などを語ります。

《場所》 2階・視聴覚室

《定員》 20人(先着順)、当日参加者席(椅子席)あり

《申込》 9月19日(土)9時から、直接・電話・FAXで
伊勢図書館まで

開館時間 午前9時～午後7時

休館日 毎週水曜日・第2金曜日

・年末年始・特別整理期間

貸出 1人10冊 2週間以内(うち雑誌は5冊まで)

1団体50冊 1ヶ月以内(うち雑誌は25冊まで)



最寄りのバス停
「伊勢市立
図書館前」

* 伊勢図書館・休館日カレンダー *



9月

10月



日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

第17回伊勢市立図書館 読書感想画展 2026

夏休みに募集した読書感想画を
下記の期間展示します。

10月10日(土)～10月31日(土)まで

(※最終日は午後3時まで)



伊勢図書館・2階展示ホール

☆おはなし会、あかちゃんえほんのじかん、上映会は、
申込不要です。

※諸般の事情により、行事が延期または中止になる
場合があります。ご了承ください。



本のごあんない

〔一般書〕^{ただし} 松居直生誕100年

福音館書店の月刊絵本「こどものとも」が創刊70周年を迎えました。その初代編集長を務めたのが松居直さんです。彼が入社した当時、福音館書店は石川県にある小さな小売書店でした。編集者は彼1人で、校正の仕方や活字・印刷については現場の職人から学びました。入社翌年に会社は東京へ移り、月刊雑誌「母の友」を創刊します。順調に部数を増やしますが、他社の絵雑誌が付録に「母の友」と似たような小冊子をつけ始めたことで売れ行きが伸びなくなります。その打開策として創刊されたのが「こどものとも」でした。毎号1冊に1つの物語、1人の画家が絵を描く月刊物語絵本は当時、類を見ない出版形態でした。

絵本によって親と子、保育者と子どもたち、そして子ども同士のことばと気持ちのかよいあい日々できることを願い創刊された「こどものとも」。そこから生まれた絵本は世代を超えて愛され続けています。

- ◎私のことば体験（松居直／著 安野光雅／挿画 福音館書店）
- ◎松居直自伝 軍国少年から児童文学の世界へ（松居直／著 ミネルヴァ書房）
- ◎松居直のすすめる50の絵本 大人のための絵本入門（松居直／著 教文館）
- ◎おじいさんがかぶをうえました 月刊絵本「こどものとも」50年の歩み（福音館書店）



〔児童書〕^{ながつき} 長月だからなが〜いもの

9月のことを別の言い方で「長月」といいます。だんだんお日様が沈むのが早くなって夜の時間が長くなることから「長月」と呼ばれるようになった、という説があります。そこで今回は9月の夜のように「長いもの」を特集します。へび、髪の毛、トンネル…みなさんは長いものといえば何を思いうかべますか？

- ★世界一長い鉄道トンネル スイス・アルプス山脈をほりすすむ
（笹沢教一／文 鈴木さちこ／絵 萩原まお／絵 Gakken）
- ★万里の長城（加古里子／文 常嘉煌／絵 福音館書店）
- ★おもしろびっくり！ギネス世界記録2 ジュニア版（角川アスキー総合研究所／編 角川アスキー総合研究所）
- ★まあちゃんのながいかみ 復刻版（たかどのほうこ／さく 福音館書店）
- ★ながいながいへびのはなし（風木一人／文 高島純／絵 小峰書店）



〔YA〕^{ソウル} ウルトラ魂！！

夏フェスという短いお祭りが終わり、その余韻にひたりながら次の夏に向けて準備する方もいる中、日本のウルトラなフェス魂はまだまだ終わらない！

実は日本という国では、一年中全国各地で音楽フェスが開催されています。ヒップホップをはじめ、正解のない音楽が集まるその場所で、そこでしか味わえない熱いライブの世界を覗いてみませんか？

- 【一般書】
- ◎フェス旅 日本全国音楽フェスガイド（津田昌太郎／著 小学館クリエイティブ）
- ◎ロック・フェスティバル（西田浩／著 新潮社）
- ◎夏フェス革命 音楽が変わる、社会が変わる（レジー／著 blueprint）
- 【児童書】
- ◎音楽ってなんだろう？ 知れば知るほど楽しくなる（池辺晋一郎／著 平凡社）
- ◎きみも音楽家（ミュージシャン）になれる（トム・ウォルサー／文と絵 福山敦夫／訳 晶文社）



あら き だ もりたけ
俳祖 荒木田 守武 (1473-1549)

ふるさと 散歩道
伊勢図書館編

荒木田守武は文明5年(1473)生まれ。荒木田氏は皇大神宮(内宮)の神職の家系であり、守武も禰宜となって天文18年(1549)に77歳で亡くなるまで一禰宜長官として奉仕します。時は戦国の乱世、神宮式年遷宮が途絶えていた頃でした。

伊勢神宮の神官たちの間では連歌が盛んとなります。連歌には上の句と下の句に分けてひとつの和歌を作る短連歌と、複数人で五・七・五の発句に続け、脇句の七・七、第三句の五・七・五、また七・七…と続けて最後の挙句で終わる長連歌(鎖連歌)があります。

守武は天文9年(1540)68歳の時に俳諧連歌を千句形式で独吟しました。俳諧之連歌独吟千句『守武千句』です。俳諧とは滑稽味のあることをいい、俳諧連歌は雅な連歌の余興として行われていました。それを守武は連歌同様の形式で詠みあげ、俳諧連歌の価値を高めました。江戸時代になると松永貞徳の貞門、西山宗因の談林、松尾芭蕉の蕉風と俳諧の流派があらわれ発展します。

後世、荒木田守武は『新撰犬筑波集』の山崎宗鑑とともに俳諧の始祖=俳祖と称されるようになりました。

飛梅やかろくしくも神の春
われもくのからすうぐいす
『守武千句』

第一の発句より「飛梅千句」とも呼ばれます

- ◆荒木田守武集 増補改訂 (荒木田守武／著 神宮文庫)
- ◆伊勢の文学 (伊藤正雄／著 神宮司庁教導部)
- ◆神宮古典籍影印叢刊 10-2 (神宮古典籍影印叢刊編集委員会／編集 皇學館大学出版部)

今月は伊勢図書館のスタッフ2人が本を紹介します。



児童書

「おとうさんは103さい」

(信友直子/作 吉田尚令/絵 さ・え・ら書房)

両親の実話を映画化『ほけますから、よろしく願いします。』を発表し、文化庁映画賞・文化記録映画大賞を受賞した映画監督の信友直子さんが、初めて手掛けた「おとうさんの物語」を描いた絵本です。

脳梗塞で入院したおかあさんを毎日病院に通って励まし、「あんたが帰ってきたら、わしがかかえてトイレに連れて行っちゃるけんの」と98歳で筋トレを始めますが100歳になる少し前に亡くなってしまいます。「なんであんたは、おらんようになってしまったん？」という言葉が、今は亡き両親を思い出し涙があふれます。



一般書

「風景印ミュージアム

直径36ミリのの中の日本」

(古沢保／著 G.B.)

風景印とは、郵便局周辺の名所や名物などがデザインされた消印のこと。その小さな印の中に、地域の文化や歴史がぎゅっと詰まっています。風景印界隈ではおなじみの著者が、入手方法や収集スタイルなどの基本情報から、切手と風景印のマッチングやテーマ別風景印図鑑、風景印さんぽなど、風景印収集の楽しさを存分に教えてくれます。風景印はすべての郵便局にあるわけではありませんが、伊勢市内には多く配備されています。気になった方は、ぜひ身近な郵便局から始めてみてください。